

# 修大 Shudai Hyakkei 百景



## 体育館

1974年の沼田キャンパス移転に伴い建設された体育館は、約50年経った現在も変わらない姿でいます。副館を含めた1階には、武道場やトレーニングルームなどの施設、2階は1,614.7㎡のメインフロアー、3階は収容人数1,000名の観客席を有し、学生のさまざまな取り組みや式典の舞台として利用されてきました。

2025年9月、修道学園創始300周年記念事業として建設中の新たな体育館へ歴史のバトンを渡し、その役目を終えようとしています。



Truth

バックナンバーはこちら >>>



広島修道大学公式SNS >>>

X (旧 Twitter)  
@shudo\_u

YouTube  
@shudo\_university

Instagram  
@shudo\_university

Facebook  
@HiroshimaShudoUniversity



## 広島修道大学

学長室総合企画課  
〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1  
TEL 082-830-1102 FAX 082-830-1324  
WEBサイト <https://www.shudo-u.ac.jp/>



# Truth

もっと知りたい、広島修道大学

Hiroshima Shudo University



春夏号

2025

Vol.  
231



道は、未来へ  
つながる



挑戦の先に、新しい道がある。

広島修道大学

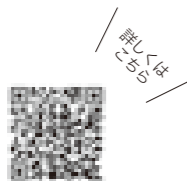


2025年に迎える修道学園創始300周年を記念し、広島修道大学公式マスコットキャラクター「しゅうまる」が誕生しました。「しゅうまる」は、広島修道大学のシンボルマークを基にしており、本学のさまざまな活動をより多くの方に知っていただくとともに、親しみや愛着をもってもらいたいという思いが込められています。

「しゅうまる」という愛称は、本学学生・教職員を対象に学内公募を行い、応募総数296件の中から厳正な審査を経て小川志樹さん(人文学部英語英文学科3年)が応募した愛称に決定しました。

2月27日には、愛称採用に伴う表彰式を執り行い、矢野学長、大澤副学長より表彰状並びに記念品を授与しました。表彰式では、矢野学長から「しゅうまる」が選ばれた理由と、小川さんに向けての感謝と祝福の言葉が贈られました。小川さんからは、この度の受賞に際し、応募理由と感謝の言葉が述べられました。

今後、「しゅうまる」が多くの方から末永く愛されるよう、本学のさまざまな場面の広報活動で使用していきます。



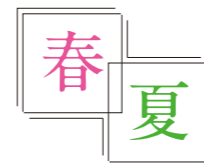
詳しくはこちら



広島修道大学公式  
マスコットキャラクター  
愛称採用者  
おがわ もとき  
小川 志樹さん  
人文学部英語英文学科 3年



## Gallery



瀬戸内海に面した広島県では、少し小高い丘の南斜面や街中の高層ビルから海がみえます。目の前に広がる瀬戸内海の光景は、みなさんにはどのように映るでしょうか。

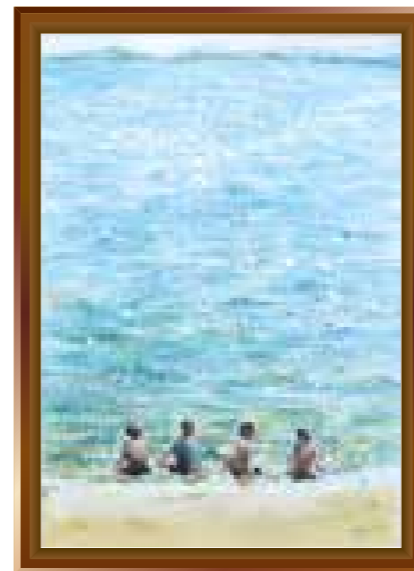
ただ、美しい。その風景を見ているだけで、豊かな気持ちになる人もあるでしょう。

浜辺で楽しむ海水浴やマリンスポーツ、波止場や磯あるいは沖にボートを出して楽しむ釣りなど、余暇を満喫する格好のアウトドアレジャースポットとして気に入っている人も多いでしょう。青い空と青い海に囲まれ、さまざまな魚や磯の生き物たちと遭遇し、楽しい癒やしの時間を過ごすことができます。

流通を研究対象としている私には、目の前に広がる瀬戸内海が道に見えます。島と島の間は広い通路で、波の流れもあり自然の織り成す動く道路に見えます。実際、道路や鉄道が発達する以前は、瀬戸内海の航路は交通の大動脈でした。江戸時代、商業の中心であった大阪に全国各地から運ばれる商品は、北前船に代表されるように多くがこの瀬戸内海を通過して運ばれました。瀬戸内海を道路に見立てると、島々で発展した町の立地の合理性もよくわかります。

興味と関心の置きどころによって、目の前の光景は違ったものになってきます。また自分の持つ知識によっても、その光景の奥深さが変わってくるでしょう。たくさんの方に興味をもち、その好奇心を原動力として多くの知識を得て、自分を取り囲む光景の多様なすばらしさを楽しむ人生を歩んでいけたらよいですね。

やの いずみ  
学長 矢野 泉



倉橋  
作 矢野 泉

## CONTENTS

- 2 SHUnDAI 旬な修大
- 4 特集 | 広島修道大学VISION2040  
未知を切り拓く「挑戦」と  
「創造」の拠点として
- 10 未来への探求  
石田 万里 教授 健康科学部
- 12 修大人の飛翔 -活躍する卒業生  
杉浦 朗 さん  
大成農材株式会社 代表取締役社長
- 14 修大人 -在学生紹介  
野口 彩花 さん 人間環境学部人間環境学科4年
- 15 海外留学記  
長谷部 成美 さん  
人文学部英語英文学科4年
- 16 サークルインフォメーション  
サークルニュース/ピックアップサークル/  
広報スタッフインタビュー
- 18 Shudo×SDGs  
SDGsに寄与するエネルギー管理
- 19 2025年度入学式
- 20 Campus News
- 22 INFORMATION
- 28 修大百景  
体育館



広島修道大学VISION2040

未知を切り拓く

「挑戦」  
CHALLENGE

と

CREATION

「創造」

の拠点として

開学80周年を迎える2040年に本学があるべき姿として掲げた2040年の広島修道大学ビジョン(以下、ビジョン)の紹介とともに、「挑戦と創造の拠点」をめざし歩んでいる本学の学生や教職員の取り組みについて紹介します。

## VISION2040

### 開拓者精神:未知(道)を切り拓く挑戦と創造の拠点

#### ビジョン 策定の背景

長期的予測が難しい時代に、本学のあるべき姿、ぶれない姿を描き、変化する環境の中でも柔軟に対応しながら、その目標に向かって進んでいくことが大切であると考え、本ビジョンは広島修道大学2040将来構想委員会\*(以下、2040委員会)での議論を経て決定しました。

学生だけではなく教職員を含めた広島修道大学の全ての構成員の持つ志としての「開拓者精神」、具体的な行動として「挑戦」と「創造」を掲げています。そして、その行動の目的として、校名にある「道」とその同音語であり予測困難な時代を表す「未知」を切り拓くことを記しています。

\*学長、副学長、大学事務局長、学長室長の他、2040年に本学の運営を中心的に担う世代が教職員の垣根を超えて参画した委員会。ビジョンやその下に掲げる6つのVALUEの策定、本学の中期的な事業計画の主要項目の検討などを行った。

#### ビジョンを達成するための「VALUE」

ビジョンを達成するため、教育、研究、社会貢献、大学運営の全てを横断する基本的な指標、大切な価値観として6つの「VALUE」を示しています。

#### VALUE

01



#### 誰もがやりたいことに挑戦できるトポス

トポスとは、ギリシャ語で「場所」を意味します。開拓者精神を醸成するトポスとして、広島修道大学が学生たちにとって挑戦の場所、大切な居場所、誰もがそこで充実した学生生活を送ることができる場所となるようさまざまな環境面を整えていきます。

#### VALUE

03



#### ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

「多様性」「公平性」「包摂性」を大切にし、多様な背景をもつ人々が学べるキャンパス、学びたくなるキャンパスを創出していきます。また学生だけでなく教職員も含め、全ての構成員が個人として尊重され、それぞれの能力を発揮できる環境を整えます。

#### VALUE

05



#### コラボラティブでイノベティブな組織文化

VISIONの達成につながるアイデアや課題意識が大学構成員から次々と生み出され、それらを共有し、積極的創造的にその実現に取り組むことができる組織、体制、制度、意識風土を構築します。

#### VALUE

02



#### 地域を導き世界を変える研究力

研究者個々の研究活性化とともに、学内で広く研究交流の場を設け、大学全体として研究力を高めます。特色である広島や瀬戸内地方に関する研究の拠点性を高めるとともに、研究者の自由な発想と研究意欲を幅広い学術的成果につなげ、社会に還元します。

#### VALUE

04



#### デジタルシナジーキャンパス

学生の成長のみえる化、IR(インスティテューショナル・リサーチ)機能の強化、教育・研究を活性化させる円滑な手続きの構築、大学内の人材・資源・空間を有効に活用するための業務DX(デジタルトランスフォーメーション)等、教育・研究・運営面においてさまざまな情報や新しい技術を挑戦的に活用していくとともに、そのための環境整備を進めます。

#### VALUE

06



#### 社会からつながりを求められる大学

広島修道大学で学ぶこと、広島修道大学で働くこと、広島修道大学とつながることが一人一人の誇りとなるよう、教育の方針や優れた取り組み、研究の成果、さまざまな学生活動を発信していくとともに、それらが社会との有機的つながりの中でさらに進化するように取り組みます。

# 「挑戦」と「創造」の拠点として

CHALLENGE CREATION

ビジョンに掲げた「挑戦と創造の拠点」をめざしている本学では、学生や教職員がさまざまなことに取り組んでいます。ここでは、学生や教職員が取り組んでいる6つの事例を紹介いたします。

## 地域の課題解決、活性化への取り組み

地域つながるプロジェクト\*1「宮島観光活性化プロジェクト～中江町と創る新しい宮島～」に参加し、中江町の活性化に取り組んできました。このプロジェクトは、地域の方と外国人観光客がつながることを目的とし、イベントの企画・運営や、やさしい日本語の普及など、町の魅力の発信と向上に努めました。プロジェクトの中でも特に印象に残っているのは、宮島で課題となっている伝統文化の後継者不足を解決すべく「たのも船作りワークショップ」を企画・運営したことです。必要な資金を獲得するため廿日市市役所にて企画をプレゼンテーションし、補助金を申請しました。ワークショップは、参加者や市役所の職員の方々に好評で、「来年も実施してほしい」な

ど多くのお褒めの言葉をいただきました。

また、このプロジェクトがきっかけで市政車座談会\*2に参加させていただき、若者代表として松井広島市長に、まちづくりについて意見を述べることができました。

この活動を通じて、熱意を持って挑戦することで多くの方が共感し、一緒に動いてくれることや、成功や失敗という結果に関わらず、経験を振り返ることで成長できるということを学びました。今後もさまざまな方と協力しながら、地域貢献活動に挑戦していきます。



ワークショップで制作した「たのも船」▲

## 海外の貧困問題について、持続可能な支援の形を考える

2023年度、学部の科目「インターンシップ」にて、フィリピン・セブ島で貧困救済活動を行っているNPO法人「DAREDEMO HERO」で約2週間のインターンシップに参加しました。貧困救済活動に以前から関心を持っていたものの、貧困には苦難や厳しい生活がつきものだと思い込んでいました。しかし、現地の人々は厳しい栄養状態や生活環境にもかかわらず、笑顔が印象的で、その理由を知りたいと思い、このプログラムに挑戦しました。

インターンシップで最も困難だったのは、どのような形で支援を行うべきかを考えることでした。寄付などの一時的な支援だけでは根本的な解決には至らないと感じ、持続可能な方法を模索しました。その結果、私たちは貧困層出身の高

校生を対象とした書道教室を提案しました。この教室では、高校生が自己表現や尊厳を育むことをめざし、それぞれの夢や興味に関連する言葉を選んで作品を制作しました。そして、これらの作品を広島修道大学の図書館で展示し、多くの人に貧困問題への関心を持ってもらうきっかけを作りました。

インターンシップでは現地を何度も訪れたことで、写真だけでは分からない現実の厳しさを目の当たりにし、「自分の目で見て感じる」ことの重要性を学びました。

私は他にも吹奏楽団の団長など、多くの挑戦を通じて自信を培い、困難な状況にも前向きに取り組む姿勢を養ってきました。挑戦は未来を切り拓くための原動力であると考えています。

## 教職員の枠を超え、業務効率化に向けたさまざまな改善への取り組み

2040委員会における将来構想の議論の中で、早急な対応が求められる課題として業務DX(デジタルトランスフォーメーション)が挙げられ、それを推進するために「業務効率化タスクチーム」が発足しました。このタスクチームは、学内公募で集まった14名の教職員で構成され、部局や教職員の枠を超え、教員と職員がそれぞれの立場を尊重しながら協力し、さまざまな業務の改善に取り組まれました。

昨年度は、研究費執行手続きのフローを整理し、電子化を含めた改善を行いました。これにより、教員と管理部局の双方の負担が軽減され、研究資金をよりスムーズに活用できる環境が整いました。また、会議資料の電子配信を導入し、ペーパーレス化を推

進しました。この結果、資料準備の手間が減り、業務の効率化と環境負荷の軽減につながっています。加えて、学生向けの手続きについても、電子化を含め利便性向上に向けた準備を進めています。こうした取り組みを通じて、学内でDX推進に向けた意識が高まり、大学全体での取り組みへと広がっています。今後も、教育・研究・運営の各分野で新たな技術を積極的に活用し、ビジョンVALUE04「デジタルシナジーキャンパス」の実現に向けて環境整備を進めていきます。



業務効率化タスクチーム  
チームリーダー  
情報センター 課長  
たに よしみつ  
谷 好充 さん

## 「スタートアップ」創出に向けての取り組み

スタートアップ\*1を生み育てるエコシステム\*2を創出するために、2022年11月に内閣官房により「スタートアップ育成5か年計画」が決定され、その取り組みが進んでいます。

大学については、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)によりスタートアップ・エコシステムに関する事業が実施されています。中四国では広島大学を主幹機関とするPeace & Science Innovation Ecosystem:PSIエコシステムがこれに取り組んでいて、本学は2023年度後半より参画しています。

本学では、学生・教職員および高校生等を対象とするアントレプレナーシップ\*3人材育成、そして学生・教員の起業活動支援環境の整備に取り組んでいます。2024年度は、学生・

教職員を対象に、「研究シーズを社会のためにどう使う?」と題したセミナーで、研究シーズを社会課題解決のためにどう生かしていくのかについて、そのアプローチ方法を学んだ上で、社会実装に向けたアイデア創出に取り組むワークを行いました。研究シーズの社会実装にビジネス視点を加えると、社会・地域をより良くできることに気づく機会になりました。また、高校生等を対象に、「望むように働き、しあわせに過ごしていくために、何をしよう?」をテーマに、自分の力を発揮しながら、自分が望む働き方を考えるセミナーを開催しました。

これから本学は、研究を社会課題解決に活用していくための「スタートアップ」創出をめざしていきます。



オープンイノベーション  
推進チームメンバー  
ひろしま未来協創センター長  
国際コミュニティ学部  
みうら ひろゆき  
三浦 浩之 教授

\*1 社会的課題を成長のエンジンに転換して、持続可能な経済社会を実現するもの  
\*2 大手企業や、投資家、大学、研究機関、創業支援機関などさまざまな関係者が連携してイノベーションの創出を図る環境を、自然環境の生態系になぞらえたもの  
\*3 激変する社会環境の変化を受容し、新たな価値を生み出していく精神のこと



国際コミュニティ学部  
国際政治学科 4年  
かし たつや  
岸 達哉 さん  
広島県・美鈴が丘高校 出身

\*1 学生が主体的に地域課題の解決に取り組むプロジェクト  
\*2 市政全般に関する課題の解決策や事業策定の参考とすることを目的に、市政課題を取り上げてテーマを設定し、各課題に関係する団体等と市長が自由かつ適に議論を行う場



人文学部  
英語英文学科 4年  
ふじた あいな  
藤田 愛菜 さん  
広島県・比治山女子高校 出身

\* 2024年度生以降は「海外体験演習」

# 「挑戦」と「創造」の拠点として

CHALLENGE CREATION



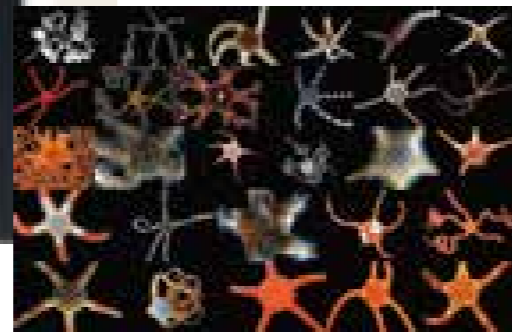
人間環境学部人間環境学科

おかにし まさのり  
岡西 政典 教授

東京大学大学院 理学系研究科  
生物科学専攻 博士課程修了  
博士 (理学)

【専門分野】  
動物系統分類学、多様性生物学

【主要研究テーマ】  
海産動物クモヒトデ類の系統分類学的研究  
クモヒトデ類の環境指標生物としての有用性の評価



神奈川県相模湾から採集されたさまざまなクモヒトデ類 ▲  
写真提供: 幸塚 久典 (東京大学附属臨海実験所)

## クモヒトデ類を用いた 海洋環境DNA研究

広島修道大学は、「未知(道)を切り拓く挑戦と創造の拠点」として、2040年に向けたビジョンを掲げています。その中で、持続可能な社会の実現に向けた研究・教育活動の強化は、大学全体の重要な使命の一つです。私の研究「クモヒトデ類を用いた環境DNAメタバーコーディング技術の開発」もこのビジョンの実現に貢献するものと考えています。

環境DNAとは、水や土壌中に含まれる生物由来のDNAをさし、これを分析し、生態系の状態を把握する技術をメタバーコーディング解析と呼びます。私の研究では、クモヒトデ類を指標生物として活用し、海洋環境のモニタリング手法を確立することをめざしています。クモヒトデ類は広範囲に分布し、環境変化にも敏感と言われており、そ

のDNAを解析することで、海洋の「健康状態」を評価することが可能と考えています。



長崎県での採水の様子 ▲

この研究は「オーシャンショット研究助成事業」に採択され、国際的な視点からも期待されています。同時に、本研究は地域社会との連携強化にも寄与すると考えています。例えば広島湾を含む瀬戸内海の環境保全は、大学が地域貢献を果たす上で重要なテーマです。環境DNA解析技術を活用し、

地元自治体や企業と協力した海洋モニタリングを推進することで、より効果的な環境保全策の立案が可能となるかもしれません。

さらに、本研究は広島修道大学の理系教育の発展にも貢献します。環境DNA研究は分子生物学や生態学、情報科学などを横断する学際的な分野であり、学生がDNA解析やデータ分析を学ぶ機会を提供します。また、実験やフィールドワークを通じた体験型学習が強化され、理系分野の実践的なスキル習得に役立つことが期待されます。

今後も、ビジョンVALUE02「地域を導き世界を変える研究」に寄与するため、教育、研究、地域貢献の各側面において大学に還元し、社会の発展に貢献していきたいと考えています。



人文学部教育学科

ひぐち かずひと  
樋口 和彦 教授

横浜国立大学大学院 教育学研究科  
障害児教育専攻  
言語障害児教育専修 修了  
博士 (心理学)

【専門分野】  
障害児心理学、発達心理学、生態心理学、文化心理学

【主要研究テーマ】  
重度・重複障害児の学習  
自閉症児の言語コミュニケーション  
特別支援学校、特別支援学級での主体的で対話的な学び (アクティブラーニング) ほか



樋口和彦編著、2024年、重度・重複障害児の学習とは? Volume2、ジアース教育新社 より引用 ▲

## 応答が微細な重度・重複障害児の 仮想空間での反応を、現実世界での コミュニケーションに育てる

意思の表出や応答が微細な重度・重複障害児(重度の子)に対し、PCの視線入力装置を使用して反応を引き出す試み(仮想空間での学習)が行われています。

この背景には、特別支援学校の90%の先生が、重度の子に意図が伝わったと感じられていない状況(児山, 2015)があると考えられます。重度の子の反応がわかりやすくなるため、視線入力による学習は多くの学校・地域療育センター・病院等で取り組まれるようになりました。

このような現状に対し、コミュニケーション発達が専門の私は、仮想空間で表出された重度の子の反応を、現実世界での他者とのやりとり(応答的関わり)に発展させることが重要であると考えています。反応をPCソフトに向けただけでなく、人とのやりとり

育てたいのです。しかし、仮想空間の反応を現実世界でのコミュニケーション行動に結びつけようとする研究はほとんど行われていません。

人の赤ちゃんは、生まれながらに人とかわりながら成長する性質を有しています。生後9カ月で他者の気持ちを理解できるようになり、気持ちを共有しながら成長します。重度の子も同様の資質を有していると考えられるので、人とかわりながら育ててほしいのです。

重度の子ども達が他者とコミュニケーションを行うようになり、社会とかわり、対人関係の能力を高めることで、生活がより充実したものになるでしょう。

仮想空間に対する重度・重複障害児の反応を、現実世界の他者とのコミュニケー

ションに発展させるための要件とその支援方法を検討し、教育モデルを作成することが研究の目的です。本研究は、①工学系の「仮想空間での学習」、②教育・心理学系の「他者とのコミュニケーション能力の育成」の2つのアプローチを連携・融合する「心理工学」というべき新たな展開を志向する挑戦とも言えます。



視線入力装置で選択する様子 ▲

# 未来への探求

## 動脈硬化を防ぐ鍵は？

## 老化・炎症・栄養との関連を探る

健康科学部 教授  
いしだ まり  
**石田 万里**

広島大学大学院 医学系研究科  
内科系専攻 博士課程修了  
博士(医学)

専門分野  
循環器内科学  
主要研究テーマ

加齢関連疾患及び循環器疾患における  
DNA損傷の役割の解明とその応用

### 「動脈硬化」をご存じですか？

動脈硬化は、高血圧や喫煙、糖尿病、脂質異常症などが原因で血管が硬くなったり、内腔にプラークが形成され血流が阻害される状態です。進行すると、脳梗塞や心筋梗塞などの重大な病気を引き起こします。

私は「なぜ年を取ると動脈硬化が起こるのか？」という疑問から研究を始めました。DNA損傷修復機能が低下する遺伝性疾患の患者さんが若年で動脈硬化を発症することに着目し、DNA損傷の蓄積が動脈硬化の発症と関係していることを明らかにしました。私たちの細胞は日々、放射線や紫外線、タバコの煙、活性酸素などによるDNA損傷を受けていますが、正常な細胞には修復

“DNA損傷と老化と血管の深い関係から考える  
血管の健康を守るために私たちができること”

機能があります。しかし、加齢によって修復機能が低下したり、外的要因によりDNA損傷が増えると、細胞老化が進み、動脈硬化につながる事が分かってきました。

### 老化と病気の発症をつなぐハブ「DNAの損傷」

研究の結果、喫煙や脂質異常症がDNA損傷を蓄積させ、細胞老化と慢性的な炎症を誘発して動脈硬化を進行させることが分かりました。しかし、危険因子を取り除けば、DNA損傷の蓄積は軽減されます。例えば、喫煙はDNA損傷を強く引き起こしますが、禁煙することで損傷の蓄積を抑えることができます。また、オメガ3多価不飽和脂肪酸\*1が酸化ストレスを減らし、DNA損傷を

軽減することも示しました。これらの研究から、生活習慣や食事・栄養が血管の健康維持に重要であることが分かりました。

### ミトコンドリアDNA損傷の影響

さらに、DNA損傷は核DNAだけでなく、ミトコンドリアDNAにも生じることが明らかになりました。特に喫煙によるミトコンドリアDNAの損傷が炎症をさらに増幅すること、血液中の遊離ミトコンドリアDNA\*2濃度が動脈硬化患者で高いことが確認されました。これにより、遊離ミトコンドリアDNAが動脈硬化の診断指標として応用できる可能性があり、現在特許を出願中です。

がんの危険因子	動脈硬化の危険因子
	喫煙
	加齢
	肥満
	運動不足
	塩分過剰
	過度な飲酒
	遺伝
	糖尿病
食物繊維不足	脂質異常症
果物不足	高血圧
感染(ピロリ、B/C肝炎ウイルスなど)	ストレス
経口避妊薬・ホルモン代替治療	男性

動脈硬化とがんの危険因子は似ています。その“かなめ”のひとつにDNA損傷があると考えています。

私たちの細胞のDNA損傷修復能力は加齢とともに低下し、損傷が蓄積していきます。DNA損傷を誘発する要因が存在すると、さらにDNA損傷は蓄積し、細胞の機能低下や細胞老化がより早期に進み、さまざまな組織や臓器の病気につながると考えられています。したがって現在では、動脈硬化のみならず、がん、糖尿病、慢性腎臓病、神経変性疾患、変形性関節症・骨粗鬆症なども、DNA損傷の蓄積が関与する加齢関連疾患として注目されています。近年、老化細胞を除去するワクチンの研究も進められていますが、私は老化細胞を増やさない生活習慣のほうがより重要だと考えています。

### 栄養学の視点からアプローチ

私は2024年10月より広島修道大学健康科学部健康栄養学科に所属しておりますので、今後は栄養学の視点からDNA損傷の抑制や修復促進に関する研究を進めていきたいと思っております。バランスの取れた食事や特定の栄養素の摂取が、DNA修復機能をサポートし、動脈硬化の予防につながる可能性があります。栄養学と動脈硬化研究を組み合わせることで、より効果的な予防法や治療法を見つけ、社会全体の健康維持に貢献したいと考えています。また、健康な血管を維持するための知識を広め、予防的なアプローチを多くの人に提供することが、今後の大きな課題であり、目標でもあります。

詳しくはこちら▶



\*1 体内で合成できない必須脂肪酸の一種。魚や海藻などに多く含まれる。

\*2 ミトコンドリアが損傷を受けた際に細胞質に放出されたミトコンドリアDNA。

# 修大人の飛翔

活躍する卒業生 GRADUATES MESSAGE Vol.53

## 学生時代の経験

在学中に特に印象に残っていることは、大学1年生の春休みに参加したスペインへの短期留学です。当時、第二外国語としてスペイン語を履修しており、家族からの後押しもあり留学に挑戦しました。「ヨーロッパだから、困ったときは英語で話せば何とかなるだろう」と気楽に考え始めたスペインでの生活は、苦勞と衝撃の連続でした。ホームステイ先での過ごし方のルールや語学学校での授業は、もちろん全てスペイン語で話され最初は苦勞しました。その中で、ヨーロッパ各国から集まった同世代の学生たちと交流するうちに、私自身が日本や広島のことをよく知らないということに気づきました。異文化理解を進めるためには、まずは自国のことを知る必要があります。現地で過ごすための語学力を含め「学ぶことの大切さ」を初めて理解した経験だったと思います。

## 3代目社長への就任

私が3代目社長を務めている大成農材株式会社は、自社製の天然有機肥料をはじめ、除草剤、農産品を扱う農業関連メーカーです。母方の祖父が創業した会社で、今年創業40周年になります。創業当時から、安全とおいしさにこだわりを持つ農家さんやご家庭に「農」を通して豊かな暮らしを届けるために、安心・安全な有機肥料へのこだわりを追求してきました。大学卒業後は他社に入社し千葉県で営業をしていた私がか業を継ぐことになったのは、先代社長である父から「帰ってきて仕事を手伝ってくれないか」と電話で伝えられたことがきっかけでした。突然の知らせで悩みましたが、創業

当時からの祖父の一貫した有機肥料への想いを受け継ぐことに決めました。

## 社長就任後の苦悩と成功

入社して3年目、社長就任時29歳と、あまりに短い期間で社長に就任したこともあり、当初は苦勞する時期が続きました。入社当初は、暗くて活気のない会社だということの印象が強く、主体的で活発な動きが少ないと感じていました。また、社員との距離感が難しい時期もありました。しかし、社長になったからには良い会社にしたいという思いから、社内環境とワークライフバランスを重視した施策を推進。福利厚生充実にも力を入れました。具体的には、定時退社の推奨や、オーバーワークにならないようなマネジメントの徹底、禁煙手当（非喫煙者にボーナスを上乘せ）など独自の取り組みを進めています。その結果、本社社員の離職率は7年連続0%（定年前の早期退職者を除く）を継続しています。

## 新ブランド「ひりょうやさんのトマト」の立ち上げ

祖父の趣味で始めたトマトづくりを事業化したのは、私が社長に就任してからです。肥料屋である私たちが、安心・安全なおいしさにこだわり、研究開発を重ねてきた有機肥料を使って、自分たちが本当においしいと誇れるトマトを作り、ブランド化しました。それまでBtoBの事業を主としていましたが、消費者の方に商品を直接届けることができるようになり、「美味しい」という声をいただく機会が増えるにつれ、私も社員も非常に嬉しく感じています。また、専門家（農家）ではない私たちが、おいしいト

詳しくはこちら



マトを作ることは、有機肥料に効果があるという何よりの宣伝になると考えています。今後も販路を拡げていく予定です。

## 農業界と私たちの今後に向けて

昨今の天候不順（高温、極端な乾燥や極端な豪雨）などで、今後は野菜も果物も栽培が難しくなっていきます。そんな環境だからこそ、植物がもつ本来の免疫や生命力を最大限引き出して栽培をする必要があります。そのためには良質な有機肥料が必要不可欠と考えています。今後は、持続可能な農業、若い人が動きたくなる農業をめざして、肥料製造だけでなく野菜の栽培にも力を入れていきます。農業界に限らず、社会では自分の専門分野やこれまで携わってきた業務外の仕事に直面することが多くあります。学生の皆さんは、ぜひ柔軟な思考を持ちながら、自分の枠を越えて未知の世界へと一歩踏み出してみてください。想像もしなかった出会いや経験が、将来のあなたを形づくる礎になるはずです。

### 私のターニングポイント

ニュージーランド・クライストチャーチへの短期留学で感じた日本との違いや、これまでの常識を覆す経験から、今当たり前と感じていることは当たり前でないことを痛感し、何が本当に大切なことか考える癖ができました。



▲学校のアクティビティで訪れた自然保護区のクライストチャーチ・ゴンドラにて（写真左から2番目が杉浦さん）

持続可能な農業の実現に向けて。  
3代目社長としての覚悟と挑戦。



大成農材株式会社  
代表取締役社長

すぎうら しょう  
杉浦 朗 さん

法学部国際政治学科\*  
2011年3月卒業  
\*現在の国際コミュニティ学部国際政治学科



# 修 大 人

在学生  
紹介  
Vol.61



のくち あやか  
野口 彩花 さん

人間環境学部 人間環境学科 4年  
愛媛県立松山中央高校出身

Hiroshima Shudo University  
SHUDAIRO

災害ボランティアで能登半島復旧・復興支援に参加。想いを行動に、経験と成長。

## 災害や防災に対する関心を抱き、備えることの大切さに気付いた経験

小学生の頃、巨大地震による津波で港町が一瞬にして飲み込まれていくシミュレーション動画を見ました。災害に対して対策をしなければ、町の全てがなくなってしまうと感じ、まずは自分にできることから行動しようと思ったことがきっかけです。それ以来、災害や防災に関する内容に興味のあるイベントなどは全て挑戦してきました。

## 人間環境学部を志望したきっかけ

広島修道大学の人間環境学部を志望した理由は、災害や防災の知識を高めたいと思ったからです。本学には、災害や防災に関して学べる科目があり、専門的な知識を修得できると思いました。また、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」を主に勉強することで、安全で災害に強い都市づくりや、早期復旧できる持続可能なまちづくりについて考えたいという理由から入学を決めました。

## 災害ボランティアとして被災地支援へ

私は約1年間で4回、令和6年度能登半島地震の被災地にて復旧・復興支援を行いました。そのうち、2024年5月の活動は、本学と公益財団法人日本財団ボランティアセンターの連携協定にもとづく共催事業でもあったため、派遣に係る交通費の補助などを大学から受け参加しました。その後、一緒に活動したメンバーと支援を継続しつつ、広島県で有事が発生した際に大学生同士が連携し合える団体として、広島県大学生ボランティア連合「晴」を結成しました。活動では、さまざまな復旧・復興支援を行いました。その経験を通じて、多くの気づき、学び、成長がありました。そして、「日々を生きることの大切さ」を思い知らされ、今後も困っている人の支援に徹しようと思いました。

## 被災地支援を通じて見えたもの

メディアでは、能登半島はすでに復興段階であると報道されていますが、現地はまだ復旧の段階で、ボランティアの数が足りておらず、被害を受けてそのままの状態になっている場所が多々あります。報道されていることをそのまま鵜呑みにするのではなく、実際に現地を訪れ自身の目で見て確かめることが重

要だと感じました。

私は、ボランティア不足やその重要性、自助・共助や被災者への心理的支援などの必要性、過剰な支援物資の廃棄などの現状を現地を見て、多くの事を学びました。

また、「平時にできないことは有事にもできない」という言葉を災害支援の専門家の方から教わりました。日頃からの備えがなければ、いざという時に対応できないので、これからもさまざまなことに挑戦し、経験を積んでいきたいと思っています。

## 将来の目標

能登半島での災害ボランティアや災害・防災支援に関する講演会、地域のイベントでは、一度きりの出会いがそれぞれにありました。そのご縁を大切に、どこかで災害が発生したら助けに行き、自身が被災したら助けてもらえるような関係性を築きたいと思っています。また、被災地に自身が行けない時でも誰かが支援してくれるような、支援が途絶えない体制を構築したいと考えています。ボランティア活動で培った行動力を武器に、今後も興味を持ったことには全て取り組み、挑戦し続け、人の心に寄り添ってきたいと考えています。

## 修大生へメッセージ

私は、「やらない後悔よりもやって後悔」という言葉をモットーに取り組んでおり、少しでも興味があると感じた物事には全て挑戦すべきだと思います。何かをやってみたいと思ったその瞬間が人生を変える第一歩です。初めから一人で挑戦するのではなく、周りの仲間と共に高め合いながら自身の居場所を探っていくと、充実した大学生活を送れると思います。そして、自身の活動範囲を学内だけに留めず学外に広げ、世界中の人と関わり自身を高めていくことで、信頼できる人たちとともに、成長し続けられると思います。



火災があった朝市 ▲ 仮設住宅の夏祭りイベントでの作品 ▲

# 海外留学記

Journal of Study Abroad

はせべ なるみ  
長谷部 成美 さん 人文学部 英語英文学科 4年 広島県立広島観音高校出身

留学先



ニュージーランド国立工科大学・Ara  
(ニュージーランド)

留学期間

2024年2月～11月

## 憧れが目標へと変わるとき

子どもの頃から英語に触れる機会が多くあったため、英語に対する興味や関心が強く、英語を流暢に話せる人への憧れが強くありました。高校生の時には、「留学を通じて新しい世界を見てみたい」、「異国の地で全く知らない人たちと出会い、新たな自分を見つけたい」と漠然と考え、留学を夢見ていました。

大学入学後、英語英文学科の授業などで海外の方と関わるがありました。躊躇なく積極的に意思表示をし、人目を気にせずありのままの自分で堂々と自信を持っている姿を見て、純粋に「私もそのようになりたい」と強く感じるようになりました。これらの経験から、人として大きく成長すること、英語力を向上させることを目標に、交換留学への挑戦を決めました。

## 留学先「ニュージーランド」、緊張とワクワク

ニュージーランドを留学先を選んだ理由は、移民が多い国なので、さまざまな国の人たちと国際交流ができると思ったからです。また、2月に派遣されるプログラムだったので、帰国後の授業の履修スケジュールを考えても好都合でした。

留学の事前準備としては、現地の生活にすぐ馴染めるよう、通訳ボランティアで英語力を鍛えたり、TOEFL iBT®の勉強など、継続的な英語力アップに取り組みました。留学の日程が近づき、ホームステイ先へのお土産や生活に必要なものを買に行ったり、パッキングを始めたりにして行く中で少しずつ留学への実感が高まってきました。少し緊張しながらも、とてもワクワクしていたのをよく覚えています。



ニュージーランドの美しい景観 ▲

## 泣いた日々から、前向きな気持ちへ

憧れていた留学が始まりましたが、異国の地で一人で生活することは決して簡単では

ありませんでした。家族や知り合いのいない環境の中で、現地の人たちと英語での授業を受けることがとても大変で、最初の一月は毎日泣いていたのを覚えています。

課題や授業の予習・復習に追われ、一日の大半を図書館で過ごしながらも、友人をつくるために、クラスで知らない学生の隣に座って話かけてみたり、スポーツやクラブ活動のイベントへ積極的に参加したりしました。そんなことを繰り返して、ふと気がつけば一緒に勉強したり、週末を過ごす友人ができていました。そのおかげか、大変だった課題や勉強も前向きに頑張れるようになりました。



現地の仲間たちとの一枚 ▲

## 留学経験で身についたもの

留学で得たものはたくさんあります。現地の人々と交流し生活していく中で、飛躍的に英語力が向上しました。また、応用経営学を専攻していたためビジネスに関するさまざまな知識も身につきました。授業ではディスカッションやペアワークなどを通じて自分の意見を求められることが多くあり、積極性やコミュニケーション力も向上しました。現地の友人も多くでき、勉強や授業以外のほとんどの時間を共に過ごすほど皆と仲良くなりました。交換留学での経験を通じて自分に自信が付き、環境の変化や新しいことへの挑戦を前向きに楽しめるようになりました。小さなことで悩まなくなり、ありのままの自分を受け入れられるようになるなど、私を大きく成長させてくれました。

## 努力が自信となって

留学はキラキラして見えるかもしれませんがそれはほんの一部で、実際には努力の毎日です。しかし、その努力が自分を強くし、大きな自信となって返ってきます。留学での経験や学びは、日本では決して得ることのできないかけがえのないものばかりです。留学に興味はあるけれど、なかなか最初の一步を踏み出せずにいる人もいるかもしれませんが、人生は一度きりしかありません。「留学に挑戦してみたい」という思いがあるなら思い切って挑戦してみてください。応援しています！

Ara Institute of Canterbury  
留学生活での努力が大きな自信に。



## NEWS

### 卒業アルバム編集委員会

2024年度卒業アルバムは2024年5月から企画や撮影をはじめ、委員会メンバーで意見交換しながら約10カ月をかけて完成。矢野学長にも贈呈しました。委員長の田渡 そのかさん(健康科学部健康栄養学科4年)は「ページをめくると、懐かしさや仲間との絆を感じていただけたらいいなと思います」と制作にかけた思いを語りました。



詳しくはこちら >>>

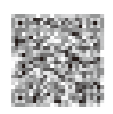


### スカッシュ部

2月22日～24日で開催された、第24回岡山オープンスカッシュ選手権大会のアンダー23女子部門で大村 真穂さん(商学部商学科・卒業生)が優勝、フレンド女子部門で大下 瑠菜さん(商学部商学科2年)が3位の成績を残しました。



詳しくはこちら >>>



## PICK UP



### バレーボール部女子

#### 楽しんで勝つバレーボールをめざして

私たちは、中国大学バレーボール2部リーグ昇格を目標に練習に励んでいます。2024年度秋季リーグでは全力を尽くしましたが、2部リーグから降格してしまいました。再び2部リーグで戦うため、「バレーボールを楽しんで試合に勝つ」をモットーに、個人技術とチーム力を高めようと、絶えず努力しています。少人数で仲が良く、毎回ほぼ全員揃って練習できています。練習意欲の高い仲間が互いに知識や意見を持ち寄り話し合いができることも強みの一つです。

大学関係者の方やOGなどの力を借りながら、これからも精進していきます。応援よろしくお祈りします。



### 音響芸術研究会

#### 見る側から支える側へ

私たちは定期演奏会や修大祭、Culture Jamなどで行われるライブの裏方を担当しています。活動内容は、企画立案者や実行委員会の方と打ち合わせをして企画案をつくり、リハーサルや本番では、客席や演者が楽しく演奏したり聴いたりできるように音を調整しています。2024年度の修大祭では、バンドサークルやアーティストのステージを多くの方々の協力のもと成功させることができました。ライブをつくりあげ成功させたときの達成感はひとしおです。普段客席側で参加するライブに裏方として携わることで、色々な視点から楽しむことができます。

## INTERVIEW

**学長賞 受賞 団体** **テコンドー部** 計4名 第36回全日本学生テコンドー選手権大会(2024年12月1日)に出場。男子団体マツギの部において、2回戦突破し、準優勝。

### 第36回(2024年度)学長賞(団体)を受賞したテコンドー部の稲田さんに学生広報スタッフがインタビューしました!

#### Interviewee

いなだ あゆむ  
**稲田 歩夢さん**  
国際コミュニティ学部  
地域行政学科4年



#### Interviewer

はやし はるか  
**林 陽花さん**  
国際コミュニティ学部  
地域行政学科4年



**林** この度は、学長賞受賞おめでとうございます!受賞の気持ちをお聞かせください。

**稲田** とても光栄に思います。日頃の努力が実り、学長賞受賞という形になったので、支えてくださった指導者の方や監督、仲間たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

**林** 昨年度、テコンドー部は学長奨励賞を受賞しました。今年度は、学長賞の受賞を目標とされていましたか?

**稲田** 正直、学長賞受賞は全く意識していませんでした。チームのみんなで楽しみながら切磋琢磨した結果が、学長賞受賞につながったと思っています。

**林** 全日本学生テコンドー選手権大会男子団体マツギの部で準優勝されたときのお気持ちを教えてください。

**稲田** 男子団体マツギの部は3人チームで戦います。決勝戦では、私が先鋒で戦い、いい流れを作れたのですが、負けてしまいました。なので、試合後は、準優勝の嬉しさよりも決勝戦で負けてしまって悔しい、チームのメンバーに申し訳ない気持ちの方が大きかったです。しかし、私が負けた後もチームメイトが一生懸命に勝利をめざして戦う姿はすごく感動しました。

**林** 今までの試合で、印象的な試合はありますか?

**稲田** 試合中に、技で相手選手にけがをさせてしまったことがありました。試合後に、申し訳ない気持ちで謝罪に行くと、相手選手に「本当に素晴らしいタイミングの蹴りだった。今度、教えてよ。一緒に練習しよう」と言われて、驚いた経験があります。その時、テコンドーは選手同士がお互いにリスペクトしあえる、素晴らしい競技だと感じ、印象に残りました。

**林** テコンドー部の強みや特長を教えてください。

**稲田** テコンドーは、未経験者が多いスポーツなので、大学生になって、武道のサークルに入りたいけれど、ハードルが高

いかも……と迷っている人でも気軽に入部することができます。また、在学中に黒帯をめざせることもテコンドー部の強みだと思っています。

**林** テコンドーの魅力や面白さを教えてください。

**稲田** テコンドーの魅力は、自分自身の成長を実感できることです。練習を積むことで、できなかった技ができるようになったり、帯の色が変わったりすると自信につながります。また、楽しさや悔しさなどさまざまな感情を味わえることも魅力の一つです。テコンドーの面白いところは、試合中における相手選手との一瞬の駆け引きです。特に、自分の練った戦略どおりに試合が進んだときに、面白さを感じます。

**林** テコンドー部としての今後の目標を教えてください。

**稲田** 昨年度は、全日本学生テコンドー選手権大会の男子団体マツギの部で準優勝という結果だったので、部員みんなと協力して今年度は優勝をめざしたいです。

**林** ありがとうございます。テコンドー部の今後のご活躍を応援しています。

**稲田** ありがとうございます。



# Shudo × SDGs



広島修道大学は、SDGsを目標とするのではなく、1つの手段としてその先につながっていく私たちの「望ましい未来」へアプローチしていきます。

## SDGsに寄与するエネルギー管理

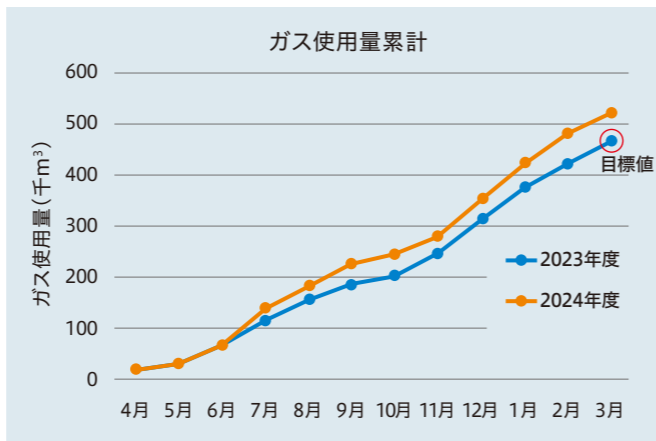
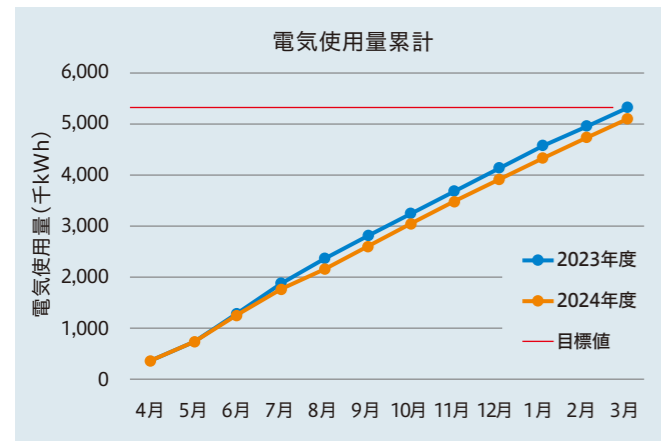


本学では、毎年度エネルギー使用量の目標値を定め、その達成に向けて設備の更新、学生や教職員の省エネ意識向上に取り組んでいます。

### 2024年度エネルギー使用量の実績

電気使用量は年間5,150,000kWh以下をめざしていました。これは、2023年度比1.5%減であり、新体育館建設中においては厳しい目標でしたが、照明LED化や省エネ月間の設定等により達成することができました。

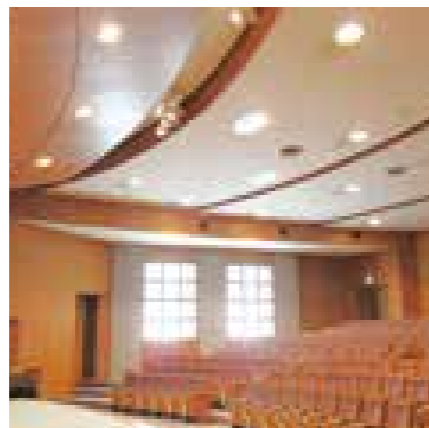
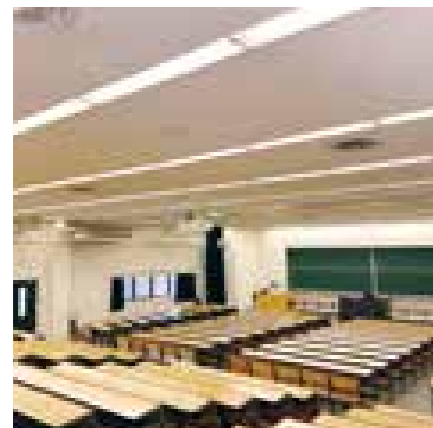
一方、ガス使用量は、2023年度の合計463,276m<sup>3</sup>以下を目標としましたが、猛暑下での教室の環境維持や高効率機器の故障により、昨年度を超過する結果となりました。



### 2025年度の省エネ計画

2号館、7号館の照明、第1・2駐車場、第4グラウンド周辺、五月が丘通路の外灯のLED化工事を予定しています。この工事により各所での使用量で1~2割程度の消費電力の削減を見込んでいます。また、新体育館の屋上に設置する太陽光発電設備では、新体育

館の年間電気使用量の約5.7%を賄うことができると予測しています。2025年度は新体育館が完成し、エネルギー使用量は増加する見込みですが、各施設を適切に運用し、使用量管理を徹底していきます。



Congratulations!



サークルに入って、充実した大学生活を送りたい!



公務員をめざし、友達と励まし合って勉強を頑張りたい!



管理栄養士をめざした勉強と、硬式野球部での活動の両立を頑張りたい!



初めての一人暮らしなので規則正しい生活を心がけたい!

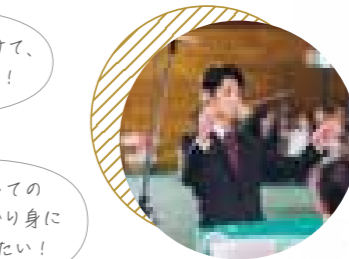
勉強とアルバイトの両立を頑張りたい、学生生活を楽してみたい!



規則正しい生活を心がけて、大学生活を楽しみたい!



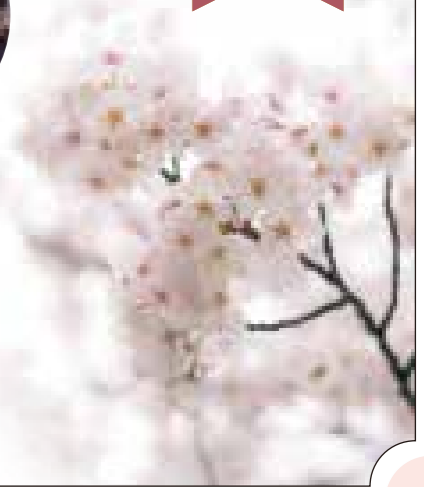
法律についての知識をしっかり身に付けていきたい!



立派な警察官になれるよう、公務員試験の勉強を頑張りたい!

# 2025年度入学式

2025年4月1日、2025年度入学式を挙行了いたしました。学部・大学院あわせて1,788名の新入生がこれから始まる学生生活に期待と不安を抱き、式典に臨んでいました。ご入学おめでとうございます。



詳しくはこちら >>>



## 地域つながるプロジェクト・地域つながるスタートアッププロジェクト2024 活動報告会を開催 (2/14)

「地域つながるプロジェクト」と「地域つながるスタートアッププロジェクト」の計7プロジェクトが2024年度の活動を報告した。報告会には、プロジェクトの連携先や、活動を支援いただいた地域の方々、高校生、本学教職員など約90名が参加。多くの困難にぶつかりながらも、地域の課題解決に向けて真摯に活動に取り組んできた学生たちの想いや成長した姿、そして地域に生まれた変化を多くの参加者に向けて報告した。



## UNIVAS AWARDS 2024-25において 優秀賞を受賞(3/3)

品川シティホールにて開催されたUNIVAS AWARDS 2024-25において、本学のサークル活動に関する取り組みが「安全安心環境構築優秀取組賞」優秀賞を受賞。体育局・文化局を横断する形でUNIVAS SSC(安全安心認証)を運用し、全サークルを対象に安全安心な学生生活のための環境整備を推進した点が評価された。2023年度に受賞した「KEIアドバンス賞『学修支援に関する優秀取組』」優秀賞とあわせて、2年連続の受賞となった。



## 臨空広域経済交流協議会「レシピコンテスト」で特別賞を受賞(2/25)

健康栄養学科黒飛ゼミの学生である、健康科学部健康栄養学科3年(受賞当時)の岡田紗奈さんと山根花菜さんが、臨空広域経済交流協議会「レシピコンテスト」に応募し、全186件の応募作品の中から特別賞を受賞。岡田さんと山根さんは、「トマトを使った『フード・テイクアウト・スイーツ』メニュー」というテーマのもと、トマトピューレを白あんと生地それぞれに混ぜた茶通と呼ばれるトマト風味の和菓子である「紅白茶通」のレシピを考案した。



## 学位授与式を挙行(3/19)

2024年度学位授与式が、本学体育館にて挙行され、学部・大学院総計1,361名に学位記が授与された。式では、矢野学長より告辞があり、続いて学校法人修道学園 林正夫理事長をはじめ、ご来賓の皆さまより祝辞をいただいた。また卒業生代表として商学部経営学科の紙本拓海さんより、感謝の言葉と抱負が述べられた。式典の様子はインターネットを通じてライブ配信もされ、卒業生とご家族を含む、多くの方にご覧いただき、和やかに式を終えた。



## 交換留学生の修了式を開催(1/30)

2024年度に本学で学んだ交換留学生7名の修了式をまなびホールで開催。学生たちはそれぞれ2分間のスピーチに臨み、感謝の言葉を述べた。式終了後は、協創館1階の「iCafe(アイカフェ)」で懇親会を行い、仲間たちとの別れを惜しんだ。



## 人文学部英語英文学科 英語教育ワークショップを開催(2/23)

英語教員をめざす学生と小中高学校の現職英語教師を対象に英語教育ワークショップを開催。千葉大学教育学部准教授・理化学研究所革新知能統合研究センター客員研究員の石井雄隆先生を招聘し、「教育DX時代における英語教師のための効果的なAI・ICT活用」をテーマに講習を行った。



## 一人暮らしの新生入生交流会を開催(4/4)

一人暮らしを始める新生入生同士の交流の輪を広げ、大学生活をスムーズにスタートしてもらうことを目的に開催。113名の新生入生が参加した。先輩学生から学生生活のアドバイスや体験談、一人暮らしでの生活の工夫などを聞き、交流を深めた。



\*1 広島修道大学同窓会による学生生活の支援制度。採択されたプロジェクトに対し上限10万円を支援する。

## 合同企業説明会2026を開催(2/6・7・10~12)

2026年3月卒業予定者を主な対象に、合同企業説明会を開催。中国地方を中心に1日80社、合計400社が来学し、5日間で延べ1,903名の学生が参加した。本格的に始まる就職活動を見据え、自らの進路について考える良い機会となった。



## 学生チャレンジ支援金報告会2024を開催(3/13)

学生の挑戦に対し金銭面で支援をする制度「広島修道大学学生チャレンジ支援金」\*1の活動報告会を開催。2024年度は2つのプロジェクトが採択され活動。報告会では活動内容やその経験から得られた学びを発表した。



## サークルガイダンスを開催(4/5)

新生入生を対象にサークルガイダンスを開催。学生会に所属する79団体が参加した。先輩学生たちは、サークルで実際に使用する道具などを用いて、新生入生へアピールした。ガイダンスには多くの新生入生が参加し、これからの学生生活への期待に、胸躍らせる姿が見受けられた。



## ムハマディア大学 ジョグジャカルタ校と連携協定を締結

インドネシアにあるUniversitas Muhammadiyah Yogyakarta(ムハマディア大学ジョグジャカルタ校)と連携協定を締結。インドネシアにある大学との協定は初めて。今後はさまざまな交流や交換留学生の派遣・受入れを検討していく。本学の協定校は世界17の国と地域37の大学となった。



## 新生入生オリエンテーション・ガイダンスにてレクリエーションを実施(4/3・4)

新生入生オリエンテーション・ガイダンスにて、レクリエーションを実施。レクリエーションでは、初対面の新生入生4人でグループをつくり、3つのグループワークを行った。学生たちは、それぞれのグループワークで交流を深めながら協力して取り組んだ。



## 留学生歓迎会を開催(4/11)

新たに本学で学ぶ外国人留学生の歓迎会をアルカディアで開催。今回受け入れるのは正規留学生11名、交換留学生22名、研究生1名。留学生の出身国は、韓国、中国、モンゴル、ベトナム、ミャンマー、アメリカ、フランス、ドイツと国際色豊かな歓迎会となった。ウェスタン部と音響芸術研究会による軽快な演奏もあり、約170名の学生たちがにぎやかに歓談した。



# INFORMATION

## 2024年度 退職教職員の紹介

教員	商学部 准教授 <b>中野 宏幸</b> (なかのひろゆき)	商学部 外国語契約教員(講師) <b>MADDEN, Christopher</b> (マデン クリストファー)	経済科学部 教授 <b>片山 尚平</b> (かたやま しょうへい)	人間環境学部 教授 <b>長谷川 弘</b> (はせがわ ひろし)	人間環境学部 契約教員(助教) <b>永井 正太郎</b> (ながい しょうたろう)
	健康科学部 教授 <b>大森 彰人</b> (おおもり あきひと)	健康科学部 教授 <b>河本 肇</b> (かわもと はじめ)	健康科学部 教授 <b>志和 資朗</b> (しわ しょうろう)	健康科学部 契約教員(教授) <b>岡本 洋子</b> (おかもと ようこ)	

職員	法人事務局 法人事務局長 <b>吉村 達裕</b> (よしむら たつひろ)	教務第3課 課長 <b>中広 年秀</b> (なかひろ ねしゆ)	ひろしま未来協創センター 主査補 <b>飯田 良行</b> (いひだ りやう)	教務第1課 主査補 <b>渡谷 真一</b> (わたりに しんいち)	教務第2課 課長補佐 <b>穴戸 真理</b> (いしど まり)
	情報システム課 係長 <b>中田 輪香子</b> (なかつた りんかこ)	教務第1課 主任主事 <b>神田 真理子</b> (こうだ まりこ)	教務第1課 主任主事 <b>森木 かの子</b> (もりきのかのこ)	総務課 第I種契約職員 <b>入本 美憂</b> (いりもと みゆ)	総合企画課 第I種契約職員 <b>大野 朱未</b> (おのの あけみ)
	ひろしま未来協創センター 第I種契約職員 <b>岡 麻葵</b> (おか まき)	ひろしま未来協創センター 第I種契約職員 <b>岡本 佳恵</b> (おかもと かね)	学習支援センター 第I種契約職員 <b>木寺 恵子</b> (きでら けいこ)	教務第3課 第I種契約職員 <b>坂井 香</b> (さかい かおり)	人事課 第I種契約職員 <b>清宮 真未</b> (せみやま まみ)
	財務課 第I種契約職員 <b>田所 史也</b> (たどころ ふみや)	経理課 第I種契約職員 <b>田中 淳子</b> (たなか じゆんこ)	財務課 第I種契約職員 <b>谷本 幸子</b> (たにもと さちこ)	入学課 第I種契約職員 <b>増田 香世</b> (ますだ かよ)	図書課 第I種契約職員 <b>森津 亜希</b> (もりつ あき)
	図書課 第I種契約職員 <b>山田 陽介</b> (やまだ ようすけ)	財務課 第I種契約職員 <b>六郎 真紀</b> (ろくろう まき)	学生課 契約カウンセラー <b>中村 晶子</b> (なかむら あきこ)	図書課 第I種契約職員 <b>名越 旬子</b> (なごし じゆんこ)	

## 2025年度 新任教職員の紹介

教員	商学部 准教授 <b>高田 裕</b> (たかた ゆう)	商学部 准教授 <b>長濱 照美</b> (ながはま てるみ)	商学部 外国語契約教員(講師) <b>TENNANT, John M.</b> (テナント ジョン)	人文学部 准教授 <b>佐藤 量</b> (さとう りょう)	人文学部 准教授 <b>三隅 貴史</b> (みすみ たかふみ)
	法学部 准教授 <b>鬼頭 祐紀</b> (きとう ゆうき)	経済科学部 准教授 <b>鈴木 貴晶</b> (すずき たかまさ)	経済科学部 助教 <b>中西 正</b> (なかに しただし)	経済科学部 外国語契約教員(講師) <b>柳原 里枝子</b> (やなぎはら りえこ)	人間環境学部 教授 <b>喜多川 進</b> (きたがわ すすむ)
	人間環境学部 教授 <b>三本木 至宏</b> (さんぼんぎ よしひろ)	人間環境学部 学部契約教員(教授) <b>田中 昭雄</b> (たなか あきお)	健康科学部 教授 <b>義田 俊之</b> (よしだ としゆき)	健康科学部 准教授 <b>藤川 卓也</b> (ふじかわ たくや)	健康科学部 助教 <b>嶋崎 太一</b> (しまざき たいち)

職員	教務第3課 書記 <b>景山 悠凧</b> (かげやま ゆうな)	入学課 書記 <b>甲藤 蓮</b> (かっとう れん)	ひろしま未来協創センター 書記 <b>繁樹 春菜</b> (しげます はるな)	人事課 書記 <b>原田 夕以</b> (はらだ ゆい)	情報システム課 書記 <b>廣兼 真由</b> (ひろかね まゆ)
	学生課 書記 <b>廣中 里江子</b> (ひろなかり えこ)	財務課 主事 <b>山本 誉久</b> (やまもと たかひさ)	図書課 第I種契約職員 <b>梶田 夢乃</b> (かじた ゆめの)	教務第3課 第I種契約職員 <b>妹尾 千夏</b> (せお ちなつ)	ひろしま未来協創センター 第I種契約職員 <b>高橋 清美</b> (たかはし きよみ)

職員	図書課 第I種契約職員 <b>外山 典子</b> (とやま のりこ)	総合企画課 第I種契約職員 <b>中須賀 芳枝</b> (なかすか よしえ)	国際センター 第I種契約職員 <b>西崎 祐子</b> (にしざき ゆうこ)	経理課 第I種契約職員 <b>船岡 麻子</b> (ふなおか あさこ)	総合企画課 第I種契約職員 <b>山本 百華</b> (やまもと ももか)
	学習支援センター 学習アドバイザー <b>中村 大輝</b> (なかむら だいき)	総務課 第I種契約職員 <b>佐藤 聖子</b> (さとう せいこ)	財務課 第I種契約職員 <b>玉井 信子</b> (たまいのぶこ)	入学課 第I種契約職員 <b>堂元 真理菜</b> (どうもと まりな)	

## 名誉教授の称号を授与

2024年度に退職された以下の5名へ、本学での長年の功績に対して名誉教授の称号が授与されました。



経済科学部教授  
**片山 尚平**  
(かたやま しょうへい)



人間環境学部教授  
**長谷川 弘**  
(はせがわ ひろし)



健康科学部教授  
**大森 彰人**  
(おおもり あきひと)



健康科学部教授  
**河本 肇**  
(かわもと はじめ)



健康科学部教授  
**志和 資朗**  
(しわ しょうろう)

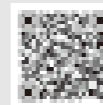
※所属、職位は  
2024年度時点。

## 学長表彰受賞者決定

2024年度学長表彰受賞者が決定し、学長賞団体2団体、個人3名、学長奨励賞団体5団体、個人31名が受賞しました。学長表彰は、本学の学生または団体が、学術・芸術・社会・体育・文化活動などの分野において他の模範となり、本人または団体並びに本学の栄誉になるものを表彰する制度です。

なお、本学では課外活動スカラシップ制度を設けており、学業、人物ともに優れ、特に文化・体育などの活動に顕著な実績をあげた者(対象・学長賞受賞者)に奨学金を支給しています(金額は団体30万円、個人10万円)。

受賞者については本学WEBサイトでご確認ください。



## 資格取得学生表彰者決定

2024年度資格取得学生表彰者が決定し、優秀賞26名、努力賞17名が受賞しました。資格取得学生表彰は、本学学生の国家資格等の取得を奨励するために設けられた制度です。

なお、本学では資格取得スカラシップ制度を設けており、本学学生で学業、人物ともに優れ、特に難易度の高い資格を取得した者について奨学金を支給しています。この資格取得奨学生は、資格取得表彰最優秀賞または、優秀賞の学部生が対象で、最優秀賞には5万円、優秀賞には3万円が給付されます。



## 2025年度 特別客員教授

2025年度、特別客員教授13名が決定しました。(順不同)

市原 則之 氏	(公財)日本オリンピック委員会名誉委員 (一社)日本トップリーグ連携機構専務理事 (公社)日本ダンススポーツ連盟副会長 (公財)日本ハンドボール協会顧問 (学)広島山陽学園理事長 元日本オリンピック委員会副会長兼専務理事
田口 信教 氏	鹿屋体育大学名誉教授 ミュンヘンオリンピック競技大会水泳金メダリスト 医療創生大学常務理事
吉田 隆行 氏	坂町町長
山崎 良子 氏	学校法人駿河台学園理事長 学校法人駿台甲府学園理事長
福岡 誠志 氏	三次市長
三島 豊 氏	三島食品株式会社代表取締役会長
山本 明弘 氏	広島市信用組合理事長 全国信用協同組合連合会会長
森信 秀樹 氏	森信建設(株)代表取締役 広島経済同友会特別幹事
細川 匡 氏	デリカウイング(株)取締役会長 株式会社FMIはつかいち 代表取締役社長 廿日市商工会議所 名誉会頭
三上 知佐 氏	国連ユニタール広島事務所長
見延 典子 氏	作家 公益財団法人頼山陽記念文化財団理事 公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団評議員 公益財団法人広島市文化財団評議員 JOIN(移住・定住推進機構)大使
上田 宗阿 氏	茶道上田宗箇流 家元 (公財)上田流和風堂理事長
AZIMI, Nassrine 氏	グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ代表者

# INFORMATION

ご寄附いただきました方々へ、心より御礼申し上げます。(敬称略) 受領期間 2024年4月～2025年3月

## 新体育館建設事業寄附金 寄附総額 ¥14,802,361

### 【個人の方】

安島 岳史	岡本 邦彦	下田 保清	茶木 篤紀	福原 耕二郎	森貝 浩
池尻 英明	小川 博文	新家 和登	坪田 正美	福間 淳子	森戸 活美
石田 愷夫	沖廣 茂樹	新免 功司	出口 聡	藤岡 一興	森永 徹
磯部 恭江	角正 康夫	菅尾 尚代	所 剛史	藤岡 道生	森本 繁登
稲田屋 節生	加藤 省吾	鈴木 則夫	富永 勉	堀江 斎	森吉 喬二
稲葉 直人	兼本 能秀	高倉 昭道	友近 典子	堀尾 明希	矢野 泉
今田 良治	河野 重徳	高田 和弘	中島 八重子	前川 恒策	山方 康行
岩井 鈴江	北ケ市 祐太	高山 臣五	長田 勲	正木 梨乃	山木戸 美智子
上野 淳次	木山 光彦	竹井 光子	中村 健治	松井 健治	山地 一満
江川 国昭	久保田 昌尚	田島 博	南葉 道之	松井 寿貢	山下 幸雄
益 貴史	Cleary William	田尻 隆彦	西谷 信子	松江 由紀	山田 修路
大谷 恒司	酒井 健志郎	田尻 裕子	西谷 龍二	松尾 尚	山本 忠史
大林 章	寄 義昭	田中 久晴	畠山 真嘉	水長 誠二	吉実 大輔
大原 修幸	茂田 保治	田中 博隆	埴淵 正伯	南 光昭	吉村 達裕
岡田 武士	志々目 喜美子	谷口 雅之	原田 長才	三村 孝信	
緒方 知徳	島崎 藍	俵 美将	日高 孝	桃谷 博文	
岡村 五十男	島崎 奈津美	丹重 裕治	平谷 義弘	森 智昭	

### 【法人・団体の方】

岩国修大会	株式会社サンフレッチェ広島	広島修道大学同窓大会
宇部修大会	周南修大会	広島修道大学選暦同窓会
SBO会(修大籠球会)	スカッシュ部顧問一同	広島綜警サービス株式会社
株式会社エデュース	ゼネラルスチール株式会社	広島トヨタ自動車株式会社
愛媛修大会	株式会社玉屋	福山修大会
小川精機株式会社	中部修大会有志一同	株式会社豊昇
株式会社オオケン	長崎修大会	有限会社松中ビル
株式会社大林組広島支店	日本道路株式会社広島営業所	株式会社マリモホールディングス
鹿児島修大会	日本海修大会	丸善雄松堂株式会社
関西修大会	沼田自動車学校	みずえ緑地株式会社
関東修大会	株式会社ネクサス	三次修大会
九州修大会	株式会社ヒロケイ	有限会社柚木組
GO&DO 篠原税理士法人	株式会社広島銀行 安支店	匿名 39名
三機工業株式会社	広島市信用組合	

## 特別寄附(使途特定)

広島修道大学後援会*	¥2,414,500
株式会社アーネスト	¥600,000
一般財団法人多山報恩会	¥600,000
広島フェニックスライオンズクラブ	¥100,000
匿名 1名	¥100,000

\*特別事業として「ボトル給水型冷水機(3台)の設置」及び「食堂棟前鉄製ベンチテーブル再塗装」を行っていただきました。

## 現物寄附

市原 則之	第11回アジア競技大会(1990/北京)公式服装 一式
	第12回アジア競技大会(1994/広島)公式服装 一式
	第16回アジア競技大会(2010/広州)
	聖火リレー・開会式 写真パネル
有田 守成	絵画作品「時間(化石)」
妹尾 章孝	河津桜1本
修経会	梅1本、河津桜1本

## 寄附のお願い

### 学校法人修道学園 創始300周年記念新体育館建設事業寄附金



新体育館完成イメージ図(デザインは変更となる場合があります。)

広島修道大学のさらなる発展にける思いをご理解いただき、新体育館建設事業寄附金募集に格別のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

新体育館建設事業寄附金  
お申込みはこちら >>>



### 広島修道大学寄附金

平素より広島修道大学の教育活動にご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。より一層のあたたかいご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

広島修道大学寄附金  
お申し込みはこちら >>>



## 広島修道大学寄附金

常広 一信	¥30,000
〈お名前のみ〉入江 みどり	
宮田 秀雄	
〈匿名〉5名	計 ¥160,000

## 留学生教職員給付奨学金

竹井 光子	¥60,000
宮崎 康子	¥48,000
住田 敏	¥36,000
柚木 尚美	¥36,000
四水 裕太	¥30,000
王 璋	¥4,000
〈お名前のみ〉James Daniel	
藤原 聡子	
ROUAULT Gregory T.	
〈匿名〉12名	計 ¥364,000

# INFORMATION

## 刊行物紹介

### 『ジェンダー事典』

【執筆等教員】河川 和也(人文学部) ジェンダー事典編集委員会編 丸善出版 2024年1月 800ページ 26,400円(税込)

近年、ジェンダー平等に向けて世界的な取り組みが進められている。この事典は、「ジェンダー」についての最先端の研究成果を分かりやすく読み物として提示している。また、ジェンダー関連用語のほか近年社会でも注目されるようになってきた「性の多様性」やLGBTQ+などの性的マイノリティに関する項目も含まれ、なかでも筆者はレズビアン／ゲイ研究から変遷してきた「クィア研究」と「強制的異性愛主義」の項目を執筆している。



### 『シリーズ・現代社会学の継承と発展 ジェンダーと平等』

【執筆等教員】河川 和也(人文学部) 江原由美子編著 金子勇,吉原直樹代表編者 ミネルヴァ書房 2024年11月 308ページ 3,850円(税込)

「現代社会学の継承と発展」のシリーズの1冊である本書は、ジェンダー研究が社会学のなかでどのように発展してきたかをめぐり、リベラリズム批判、労働、移民、エスノメソドロジーなどさまざまな領域や問題系に関する論考が含まれている。筆者は、「セクシュアリティ研究のゆくえ」という章で、セクシュアリティ研究がジェンダー研究とは視角を共有しながらも、それとは完全には重ならない固有の領域を形成し、それが性的マイノリティの運動を推進してきたことを考察している。



### 『幼小中高一貫 地理教育カリキュラムスタンダード 近未来社会をつくる市民性の育成』

【執筆等教員】永田 成文(人文学部) 吉田剛,永田成文,阪上弘彬編著 古今書院 2025年2月 216ページ 2,970円(税込)

近未来社会型の幼小中高一貫地理教育カリキュラムの内容構成の原理として、地理的概念を位置付けた【内容】【方法】【価値】の構成領域を示し、この理論をもとにスタンダードとしてのカリキュラムの考え方や到達目標となる系統表を提案している。【価値】領域では、「持続可能性」を地理的概念として位置付け、ESDにかかわる持続可能な社会づくりを考察・構想することで地理的価値態度を育成する授業を提案している。



### 『憲法理論叢書 憲法問題の新展開』

【執筆等教員】松本 奈津希(法学部) 憲法理論研究会編 敬文堂 2024年10月 234ページ 3,300円(税込)

本書は、①生存権論、②人権論および③統治機構論における新たな展開を追うものである。私が担当した箇所(「生活保護基準改定にかかる裁量統制のあり方と憲法25条の役割―日独の比較から」)では、近年の生活保護基準引き下げ訴訟の裁判例について、ドイツ法との比較検討を適宜行いつつ、なるべく多くの視点からの検討を試みることで、生活保護基準との関わりにおける憲法25条の役割を明らかにしている。



### 『社会保障法入門 生活保障の原理で学ぶ』

【執筆等教員】山田 晋(法学部) 山田晋著 嵯峨野書院 2025年3月 153ページ 2,530円(税込)

本書は法学の教科書だが、著者は現行の社会保障法を信用していない。わが国に存在するのは、官僚の作文を強行採決し「丁寧に説明する」という自民党ファシズム政権の制定した「詔」である。どこにも社会保障の当事者は存在しない。このような「詔」を研究・解釈しても何の意味もない。社会保障の本質である生活機能から法を構築しなければならない。それが理會されれば、本書の記述の杜撰さ、重複、誤りなど、些細な問題である。



### 『経済地理学事典』

【執筆等教員】佐々木 緑(人間環境学部) 経済地理学会編 丸善出版 2024年10月 684ページ 26,400円(税込)

学際的な学問としての経済地理学の全体像を体系的に提示した事典である。経済地理学の理論・基礎概念に加え、産業・地域の分析から構造変化や地域政策、国際化、環境問題などを幅広く取り上げている。筆者はそのなかで「フードシステム」について解説した。

本書は、研究者だけでなく、政策立案者や初学者にとっても用語の生まれた背景や特徴、課題や最新のトピック、研究成果などがわかりやすく解説された「役立つ事典」である。



### 『フリー統計分析ツールHADのトリセツ』

【執筆等教員】横田 晋大(健康科学部) 横田晋大著 ナカニシヤ出版 2025年3月 258ページ 3,520円(税込)

本書は、無料で使える統計分析ソフトHADの実践的な解説書である。基本的な使い方から各種の分析手法まで、豊富な図解を交えてわかりやすく説明している。統計が苦手な人でもスムーズに操作できるよう配慮した。データ分析を効率化することができれば、得られた結果をより深く考察する時間を確保できるだろう。特に、心理学を学ぶ学生にとっては、実習や卒業論文のデータ分析に役立つ実用書である。



## EVENT

### 教育・進路相談会

教育・進路相談会では、教職員による個人面談を行い、成績や学生生活について保証人からの相談や要望に対応しています。

開催日	開催地	会場	本学の教育・進路相談会について (内容、時間などは予定)	13:00~14:00 14:10~16:00	会長挨拶、就職活動体験談 個人面談 (学業、資格課程、就職、学生生活)
9/13(土)	本学	広島修道大学	本学以外の教育・進路相談会について	13:00~14:00 14:10~16:00	会長挨拶(VTR)、就職活動体験談 個人面談 (学業、資格課程、就職)
9/27(土)	福山	広島県民文化センターふくやま			
10/4(土)	松江	松江テルサ			
10/18(土)	山口	KDDI維新ホール			

### 「修活！」オープンキャンパス

オープンキャンパスを本学にて、下記の日程で開催します。  無料送迎バス有  駐車場有

受験生・保護者対象 入試説明会 **6/22日** オープンキャンパス **7/19(土)・7/20日・8/24日**

### Culture Jam

文化局のサークル、団体が発表するイベント「Culture Jam」を **6/28(土)・6/29日** 本学にて開催します。

### アンケートにご協力ください

「広報誌TRUTH」および「本学広報」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。いただいたアンケート内容は今後の誌面作りおよび広報活動に活用させていただきます。

また、アンケートでプレゼントを希望された方の中から、抽選で修大オリジナルグッズをプレゼントします。

アンケートは以下のURLもしくは2次元コードからWEB上にてご回答ください。  
<https://ws.formzu.net/dist/S21976260/>



抽選で20名様に「修大オリジナルしゅうまるエコバック」をプレゼント!  
**応募締切:9月9日(火)**  
※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



### 表紙写真のご紹介 撮影サークル:軽音楽部

軽音楽部は、サクソフ・トロンボーン・トランペット・ピアノ・ギター・ベース・ドラムで構成される、ビッグバンドという形式で演奏しています。ジャズをはじめ、さまざまな曲を演奏しており、大学祭や定期演奏会などに向けて、日々練習しています。